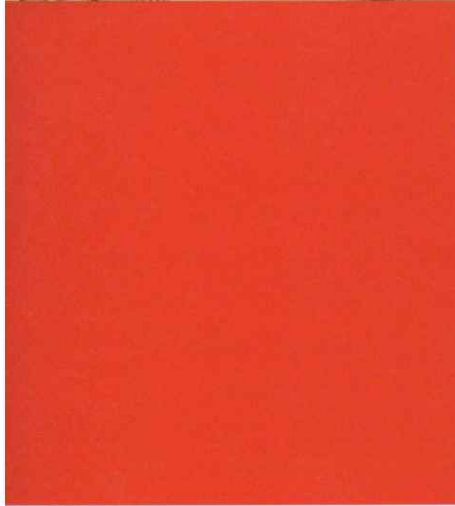


CORPORATE
PROFILE



CIC 長州産業株式会社



代表取締役社長
岡本 晋

人々のより良い暮らしのために、一歩ずつ果敢に挑戦を続ける。 それが長州産業の原点です。

時は第二次石油ショックの翌年。日本経済は資源、物価の高騰の余波が色濃く残る混乱した状況にありました。そんな中、維新発祥の地山口で小さな給湯器メーカーが誕生しました。私たち長州産業です。混沌とした状況にも関わらず製造会社を立ち上げたのは、蛮勇とでも評すべき行為だったかも知れません。この時、創業の原動力となったのは純粋な思いでした。～風呂好きな日本人がふんだんに使えるお湯を供給したい～この思いを原点に、長州産業は一歩ずつ着実に技術を磨き、時には果敢に新たな分野へ挑戦を続けていきました。そして今、長州産業は住宅エネルギー機器、真空プロセス装置・サービスなどを総合的に提供する企業へと成長を遂げました。

創業当時と時代背景は異なりますが、現在の私たちを取り巻く環境においても、地球温暖化の進展や新興国経済の発展による資源需要の底上げなど、長期的なエネルギー供給の制約が大きな課題となっています。長州産業は太陽光発電の普及により、こうした環境・エネルギー制約の解消に貢献できないかと考えました。1998年に太陽光発電システム事業に参入すると、半導体製造装置の開発で培った技術を活かし、太陽電池セルの原料となるウェハーからモジュールまでの国内一貫生産の体制を矢継ぎ早に構築しました。この体制こそが、世界最高レベルの発電効率をもつ当社独自の「ヘテロ接合構造太陽電池セル」の開発・製造を可能としました。こうした革新技術は、当社の研究開発の努力のみならず、国内外の研究機関等との連携があって初めて実現してきたものだと言えます。

もう一つの基幹技術である真空プロセス装置の開発・製造の源流は、創業4年後から立ち上げた半導体装置のメンテナンス事業に遡ります。当時は日本の半導体業界の成長期。大手メーカーが国内生産能力を増強し新たな協力企業が必要とされていました。当然ながら、給湯器メーカーである長州産業は半導体事業についてのノウハウは全く有していませんでしたが、この事業の将来性を確信し、わずか60数名の社員から6人の精鋭エンジニアを送り出し技術を学ばせたのです。不転の決意で臨んだ精鋭チームは短期間で技術を習得し、当社の真空プロセス事業の礎を築きました。今では、長州産業の真空技術、中でも蒸着成膜技術は業界で高く評価され、高性能ディスプレイや高機能フィルム製造の需要の伸びと歩調を合わせるように事業展開を進めているところです。

新たな試みを恐れず、果敢に飛び込んでいく。それが長州産業の遺伝子であり、私たちの社名には、「世の中を良くしたい」という維新の先達の志を引き継ぐという思いが込められています。これからは、例えば太陽光発電と蓄電技術を融合した最適なエネルギー・マネジメント、あるいは水しか発生しないクリーン技術の水素エネルギー。当社は次世代技術の実用化、普及をリードしていきます。

原点を忘れず、一歩ずつ果敢に。私たち長州産業は挑戦を続けます。

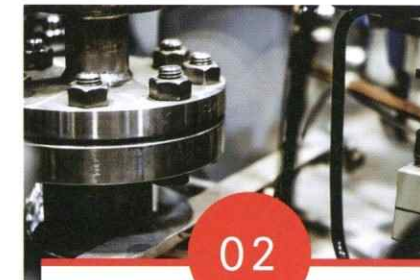
3つの主力事業



01

エネルギー機器の研究開発、製造、販売事業

1998年より太陽光発電システムの販売を開始し、現在では主軸事業となっています。世界でもトップクラスの技術力を持つ太陽電池や最新の蓄電システム、そしてそれらを管理するエネルギーマネジメントシステムをトータルで提案、サポートする体制を整えています。



02

超高真空技術による、有機EL、半導体、液晶パネル関連の製造装置事業

1985年より最先端技術の習得をし、装置の設計・製作・組立・据付・メンテナンスまでをトータルで行える体制を築いています。また、国内でも有数の技術力を持っており、海外メーカーにも製品を納入しています。



03

洗浄・再生事業

半導体や液晶パネルの製造現場において、装置内の部品に付着する金属などの薄膜を除去し、部品の機能を再生する事業です。長年培ってきた技術により、各種表面処理をご提供します。

常に進化していく長州産業は、水素やバイオマスなど新しいエネルギー事業に挑戦しています。

再生可能エネルギーを使ってオンサイトでCO₂フリー水素を作るパッケージ型水素ステーション「SHIPS」や、食品残渣や畜産廃棄物等を減容化しバイオマス燃料として利用する設備「ERS」などを開発しています



再生可能エネルギーを使ったパッケージ型水素ステーション「SHIPS」

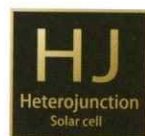
地域の廃棄物から有価資源を生産し、再生可能エネルギーに変換する「ERS」



プレミアムブルータイプは先進技術を取り入れ、
業界トップクラスの発電性能を実現。
[Gシリーズ]

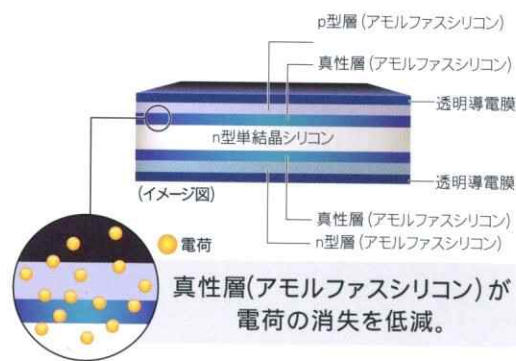


PREMIUM BLUE



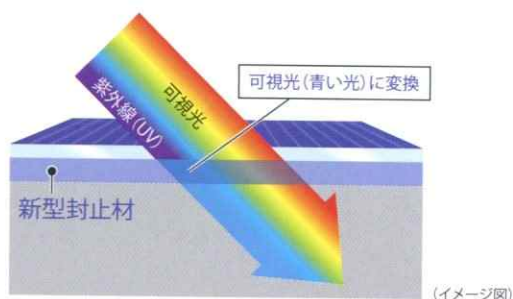
[ヘテロ接合構造セル]が
発電ロスを最小限に抑えます。

n型単結晶シリコンとp型層、n型層(アモルファスシリコン)の間に不純物を添加させない真性層(アモルファスシリコン)を形成することで、界面特性の向上を図れ、発電ロスを減らすことが可能になりました。



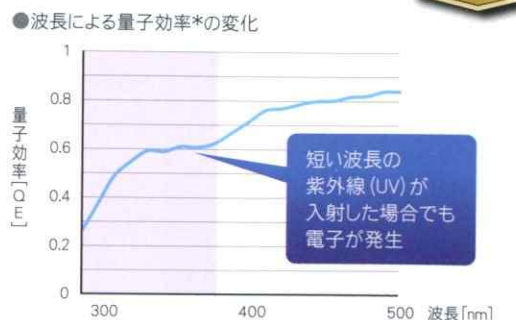
[波長変換技術]で
紫外線も最大限に利用します。

新型封止材で短い波長の紫外線(UV)を可視光に変換して活用



今まで利用できなかった
見えない光(紫外線(UV))も
取り込み発電量をアップ

特許
取得
当社独自技術



*量子効率とは、太陽電池に吸収された光子数に対する発生した電子数の比率です。

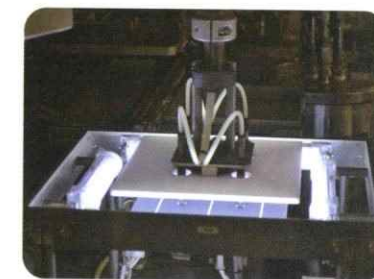
高効率単結晶セルを採用。
多彩なラインナップでニーズに対応する。
[Bシリーズ]



JAPAN BLACK

40年以上にわたり住宅設備機器に
携わってきた実績

1980年に住宅設備機器メーカーとして設立された当社は、太陽熱温水器などの製造、販売を通して40年以上にわたり住宅の屋根と向き合ってきました。お客様の大切な家屋を守るため、太陽電池の施工方法にはその経験が反映されています。



太陽光発電を知り尽くした
確かな技術とノウハウ

太陽電池セルの研究開発からモジュールの製造まで手掛ける長州産業。長年培ってきた装置技術は太陽電池の製造ラインにも活かされています。先進技術を取り入れ高効率化を追求する開発力と、製造装置のノウハウを有し高品質化を図る技術力。開発と製造部門が緊密に連携し、迅速なフィードバックを行うことにより、性能と品質に優れた製品を世に送り出しています。

ヴァーチャル工場見学

「ようこそ、長州産業株式会社へ!」公開中



国内で唯一この規模を有する太陽電池モジュールの製造現場や、最先端の装置技術を持つ真空・メカトロ機器事業について紹介しています。当社の技術と品質へのこだわりを是非ご体験ください。

(右のQRコード (<https://cic-solar.jp/library/>) を読み取り、遷移先にて「ようこそ、長州産業株式会社へ!」をお選びください。)



停電対策や発電電力の自家消費など、蓄電システムのニーズが高まっています。

電気をためる機能に特化した単機能タイプや、効率よく電気を活用できるハイブリッドタイプ。停電時でも平常時と同等の生活ができる全負荷対応型など、スマートPVシリーズはお客様のニーズに柔軟に対応できます。

Smart PV

[スマートPVマルチ]

Multi

家屋の外観にもマッチする

コンパクト設計

様々な設置条件に対応

長寿命

約**11,000**

サイクル※
(期待値)

機器構成

ハイブリッド・単機能
全負荷・特定負荷
選択可能

蓄電容量

6.5kWhタイプ

初期実効容量5.6kWh

蓄電容量

9.8kWhタイプ

初期実効容量8.3kWh

蓄電容量

16.4kWhタイプ

初期実効容量14.2kWh

※当社所定条件による期待寿命であり、保証値ではありません

蓄電池ユニット

Smart PV

[スマートPVプラス]

plus

朝・夕・曇りなど
日射が弱い時でも発電

**DC30Vから
運転可能**

(起動時はDC35V必要)

長寿命

約**12,000**

サイクル※
(期待値)

蓄電池最大
充電電力

5.5kW

蓄電容量

7.04kWhタイプ

初期実効容量6.2kWh
(2台設置可能)

※当社所定条件による期待寿命であり、保証値ではありません

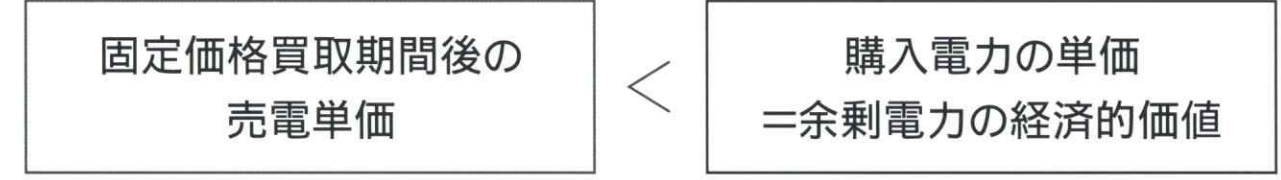
ハイブリッド
パワーコンディショナ

蓄電池ユニット

電気をためることで、太陽光発電の経済効果を維持できる。

固定価格買取期間の終了後は売電単価が下がり、売電による経済効果は大幅に低下します。そのような時、余った電気を一旦ためて足りなくなった時に自家消費できれば、購入電力量の削減につながり大きな経済効果が得られます。

○電気料金の推移



増加傾向にある災害。「もしも」の備えに。



停電時も安心!

近年、豪雨や台風などで停電が長期化するケースが増えています。そのような時、通常と同じように電気を使えるよう備えておけば大きな安心感が得られます。

ためた電気が、“いざ!”というときに大活躍!

- 安心1** 予期せぬ停電から家族を守る
- 安心2** 停電が長引いても生活を継続できる
- 安心3** 停電が起きても地域で支え合う



真空・メカトロ機器事業では、半導体や液晶パネル、有機ELなど、最先端の製造現場に対応した装置の設計・製作からメンテナンスまでを一貫した体制で行っています。

有機デバイス用成膜装置

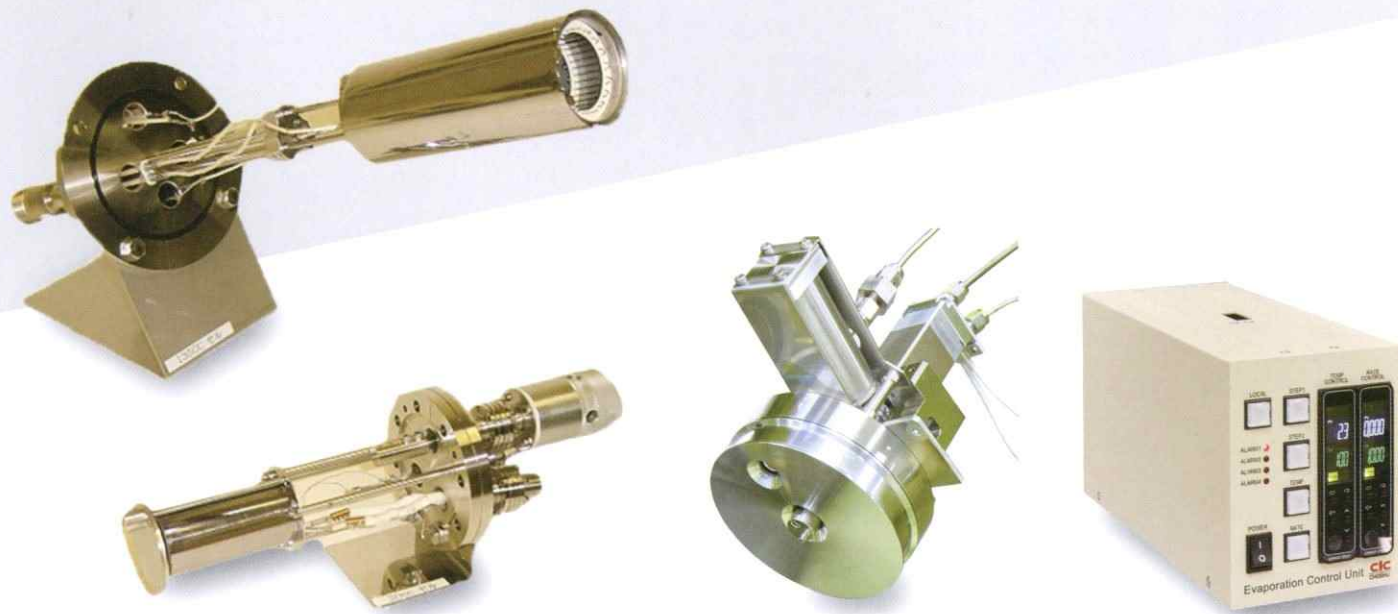
有機デバイス用成膜装置には長州産業ならではの技術が活かされています。

当社の有機EL製造装置は長年培った真空技術と高精度搬送技術を融合させ、材料使用効率など、あらゆる面で高い性能を誇ります。



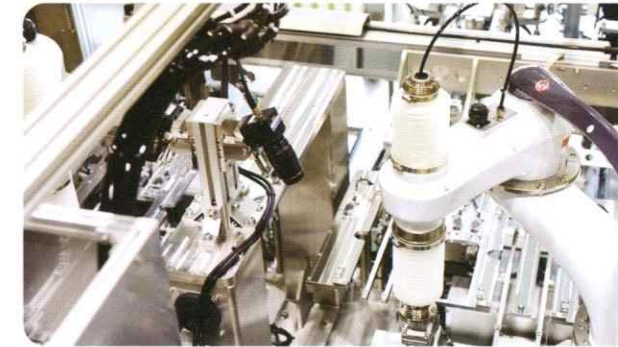
コンポーネント製品

有機デバイス用成膜装置に必要な不可欠なコンポーネントの開発にも力を注いでいます。R&Dから量産まで幅広いラインナップを取り揃え、提供しています。



電子部品製造装置

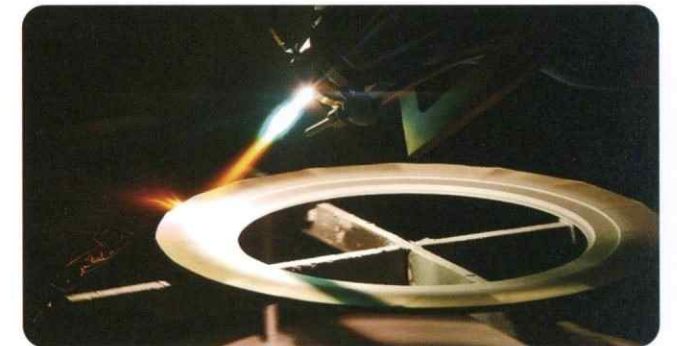
最先端の技術で、半導体分野に新たな地平を拓きます。



各種半導体製造装置の製作を通して培った技術は、次々と登場するハイテク装置のニーズにも柔軟にお応えしています。お客様にとって真の力となる製品を産み出します。

洗浄・再生業務（広島工場、九州工場）

半導体製造装置、電子部品製造装置に組み込まれているシールド部品や内部治具を、洗浄再生してお客様にお届けします。歩留まりの向上やランニングコストの低減に貢献し、真空装置技術を根底から支えています。



真空ポンプオーバーホールサービス（本社・鹿児島事業所）



真空装置製作で培った基盤技術で真空ポンプのオーバーホール業務を行っています。高真空用クライオポンプから、各種ドライポンプやロータリーポンプまで対応します。真空装置の安定稼動をバックアップしています。

会社概要

設立 1980年(昭和55年)10月

資本金 4億1000万円

代表者 代表取締役社長 岡本 晋

従業員数 610名

事業内容

- 太陽光発電システム、環境機器の製造・販売
- 有機ELデバイス製造装置、半導体・液晶パネル製造装置、メカトロ機器の設計・加工・組立・据付・メンテナンスまでの一貫業務
- 半導体製造装置のエンジニアリング業務並びに関連装置の洗浄再生業務
- 半導体製造装置関連部品の超精密板金・機械加工
- 水素エネルギー・バイオマスエネルギー設計・製造・販売・メンテナンス



卓球女子日本代表 石川佳純選手を応援しています。

沿革(抜粋)

1980年	住宅設備機器の製造販売を目的として会社を設立
1981年	太陽熱温水器、風呂釜、給湯器、ソーラーシステムの販売開始
1983年	大阪営業所を開設
1985年	日電アネルパエンジニアリング(株)と業務提携、真空メカトロ機器分野へ進出
1987年	電気温水器の販売開始
1990年	半導体製造装置試験研究棟完成
1993年	広島県三原市で広島工場の操業開始 洗浄技術分野へ進出 東京営業所を開設
1995年	広島工場に溶射工場棟完成
1996年	山口県山陽町でメカトロ機器工場の操業開始
1998年	太陽光発電システム販売開始
1999年	メカトロ機器工場ISO9001認証取得 仙台営業所・長野営業所・高松営業所を開設
2000年	山口県山陽町で真空機器工場兼管理棟操業開始(真空・メカトロ機器工場に改称)
2003年	九州工場・鹿児島営業所を開設
2007年	真空・メカトロ機器工場に本社移転(本社工場に改称) 旧本社を小野田工場に改称 茨城事業所を開設
2009年	太陽光発電システム部門ISO9001認証取得 太陽電池モジュールの生産開始
2010年	名古屋営業所を開設 本社工場敷地内に太陽電池セル生産工場完成 中国電力(株)福山太陽光発電所へ太陽電池モジュール供給(3メガワット)
2011年	太陽電池セル生産工場操業開始
2013年	本社工場隣接地に3メガワットの太陽光発電所を建設 北海道営業所を開設
2016年	本社社屋に2メガワットの太陽光発電所を増設 北関東営業所を開設
2017年	ソーラー水素(アイ)パワーステーション(SHIPS(シップス))実証設備を開所
2018年	北陸営業所を開設 第二電力(株)がグループ会社になる
2019年	希愛希商貿(上海)有限公司設立
2020年	長州酒造(株)酒蔵完成し日本酒「天美」販売開始
2021年	米国ロサンゼルスにCHOSHU INDUSTRY CORPORATION OF AMERICA,INC. 設立

事務所紹介



地域創生事業

きれいな水や豊かな自然、地域の農作物など、特色ある資源を活かして地域の魅力を引き出す事業にも取り組んでいます。

酒造

長州酒造株式会社

「日本の文化の一端を担いたい。」150年近くの歴史がある酒蔵を継承し、長州酒造として新たな一步を踏み出しました。酒蔵と酒造設備は一新し、酒米には地元のお米を使っています。伝統と最新の技術で、魂を込めた酒造りを追求していきます。



ゴルフ場

セントラルパークゴルフ倶楽部

自然の地形を活かしたコースを備え、クラブハウスの屋根には太陽光発電が敷き詰められています。クリーンエネルギーによる環境にやさしい運営を心掛けながら、レストランでは地元のお米や季節ごとに厳選された食材を活かした料理を提供しています。





cic 長州産業株式会社

ホームページアドレス

・コーポレートサイト

<https://choshu.co.jp/>

・太陽光発電・蓄電システムサイト

<https://cic-solar.jp/>



エネルギー機器本部

- | | |
|---------|--|
| 本 社 | 〒757-8511 山口県山陽小野田市新山野井3740
TEL 0836-71-1033 FAX 0836-71-1202 |
| 東 京 支 店 | 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-2-4 京阪大手町ビル4F
TEL 03-5280-2660 FAX 03-5280-2635 |
| 大 阪 支 店 | 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町10-34 井門江坂駅前ビル3F
TEL 06-6192-7855 FAX 06-6192-7652 |
| 中 部 支 店 | 〒456-0002 愛知県名古屋市熱田区金山町1-7-5 電波学園金山第1ビル5F
TEL 052-671-3566 FAX 052-671-3551 |
| 東 北 支 店 | 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井3-10-1
TEL 022-287-7122 FAX 022-287-7113 |
| 北海道営業所 | 〒003-0023 北海道札幌市白石区南郷通20丁目北3-28 札幌南郷ビル2F
TEL 011-374-5288 FAX 011-374-5289 |
| 北関東営業所 | 〒320-0807 栃木県宇都宮市松が峰1-3-16 グラン宇都宮303
TEL 028-638-6211 FAX 028-638-6234 |
| 北陸営業所 | 〒920-0005 石川県金沢市高柳町5-6-1 金沢SKビル2F
TEL 076-253-1252 FAX 076-253-1198 |
| 高松営業所 | 〒761-0301 香川県高松市林町2538-8 B101
TEL 087-815-0756 FAX 087-815-0747 |
| 福岡営業所 | 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前4-24-23 第7森谷ビル7F
TEL 092-409-2212 FAX 092-409-2144 |